

科目番号	59020	分類	専門科目 環境保健学	履修者	看護学研究科博士課程	学年	1		
科目名	政策行政学 (Policy and administration science)						1		
							配当セクター		
							通年		
担当者	○ 福島 富士子 他1名			区分	選択	単 位	2	時 間 数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
【概要】 看護活動には、保健・医療・福祉の法制度・政策が深く関わっている。本授業では、日本の法制度の成立について解説し、政策形成過程の基本的なあり方を学ぶ。なかでも看護に関する政策について、日常の看護活動との関連のなかで現状から課題を考察し、看護の質向上にむけた制度等の改善につながる政策的働きかけについて理解を深める。 【目標】 1.日本における政策決定過程の基本的な考え方を説明できる。 2.日本の社会保障制度のなかでの看護サービスの位置づけと課題を説明できる。 3.日常の看護活動と看護政策の関連について、具体例を通して討議できる。 4.今後の医療・看護サービスの方向性について、政策的改善案を提示できる。						○	1. 看護学の継承・発展を促すための研究能力		
○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力								
○	3. 地域社会の保健ニーズに応じた実践的研究教育能力								
○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力								
	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を促すことができる能力								
	6. 実践を行いながら学部学生の臨床実習を指導できる能力								
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
1	導入 授業オリエンテーション/政策過程、医療・看護政策の動向 ねらい) 本科目の目的目標、および我が国の政策過程の概要と医療・看護政策の動向を理解する。								福島 他1名
2	看護行政・看護政策1(看護師の役割・業務に関する政策):保健師助産師看護師法、特定行為研修等 ねらい) 看護の役割・業務に関する政策について理解し、課題を検討する。								
3	看護行政・看護政策2(看護職の資格・処遇に関する政策)看護職の資格、賃金制度等 ねらい) 准看護師制度などの看護職の資格や、看護職の賃金制度について理解し、課題を検討する。								
4	看護行政・看護政策3(看護職のマンパワー確保に関する政策)看護職の人材確保に関する法律 ねらい) 看護職等の人材確保の促進に関する法律と看護労働市場を理解し、マンパワー確保に関する課題を検討する。								
5	看護行政・看護政策4(診療報酬制度における看護の評価)診療報酬制度について(1) ねらい) 診療報酬制度の仕組みとそのなかでの看護の評価について理解する。								
6	看護行政・看護政策5(診療報酬制度における看護の評価)診療報酬制度について(2) ねらい) 診療報酬制度の仕組みとそのなかでの看護の評価について課題を検討する。								
7	看護行政・看護政策6(地域包括ケアシステム)地域包括ケアシステムについて ねらい) 地域包括ケアシステムの理念や内容、看護の果たすべき役割機能について理解し、課題を検討する。								
8	看護行政・看護政策7(介護保険制度)介護保険制度について ねらい) 介護保険制度の仕組みとそのなかでの看護の役割機能や評価について理解し、課題を検討する。								
9	看護行政・看護政策8(母子保健、リプロダクティブヘルス)行政における母子保健とリプロダクティブヘルスに関する支援について ねらい) 母子保健とリプロダクティブヘルス分野における行政による支援を理解し、課題を検討する。								

10	看護行政・看護政策9（関係機関の役割）行政と民間における政策へのコミットメント ねらい）国・都道府県・市区町村の仕組と役割や、学会や職能団体等における政策への 参画について理解し、課題を検討する。
11	演習1（政策過程への参画）政策提言内容の検討(1) ねらい）グループで検討する課題を焦点化する
12	演習1（政策過程への参画）政策提言内容の検討(2) ねらい）グループで検討する課題をみつけ、分析する
13	演習2（政策過程への参画）政策提言内容の検討(2) ねらい）グループで検討した課題に対する政策を形成する
14	演習3（政策過程への参画）政策提言の発表 ねらい）グループで検討する政策提言内容を発表する
15	まとめ ねらい）本科目での学習内容について系統的にまとめる
事前・事後 学習	事前学習：1 政策過程への参画：グループで検討する政策提言内容を発表する 2 看護職の役割・業務に関する政策資料・文献を集積し、まとめておくこと 3 看護職の資格・処遇に関する政策資料・文献を集積し、まとめおくこと 4 看護職のマンパワー確保に関する政策資料・文献を集積し、まとめおくこと 5 関心のある診療報酬における看護の評価に関する資料・文献を集積し、まとめておくこと 6 グループで政策提言内容を検討する 7 グループで政策提言内容を検討・発表準備を行う 8 グループで政策提言内容の発表準備を行う 事後学習： 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと
評価の方法	1. 到達目標 1.2.3 の評価 ・1~5回：学んだ内容から自分の考える政策的課題をリアクションペーパーに書く（各10%×5=50） ・担当した単元のプレゼンテーション内容（25%） 2. 到達目標 4. の評価 ・政策提言プレゼンテーション内容（25%） 3. 合格（単位修得）のための最低基準 ・看護サービスの現状を踏まえて具体的な課題を説明できる。 ・日常の看護活動と看護政策の関連について、具体例を提示できる。 ・これからの医療・看護サービスの方向性について、具体的で実現可能な政策的改善案を提示できる。 フィードバックは適宜行う。
参考図書 ・資料等	保健師助産師看護師法60年史編纂委員会。(2009) 保健師助産師看護師法60年史—看護行政のあゆ みと看護の発展—。日本看護協会出版会。池上直己。(2017) 日本の医療と介護—歴史と構造、そして改 革の方向性。日本経済新聞社。 岩淵豊。(2015) 日本の医療 その仕組みと新たな展開。中央法規。 島崎謙治。(2015) 医療政策を問いなおす。ちくま新書。 見藤隆子ら。(2017) 看護職者のための政策過程入門第2版。日本看護協会出版会。 野村陽子。(2015) 看護制度と政策。法政大学出版局。 小池智子ら。(2018) 看護サービス管理第5版。医学書院。 角田由佳。(2020) 看護サービスの経済・政策論第2版。医学書院。 児玉安司。(2023) 医療と介護の法律入門。岩波新書
備 考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。